

## <第2学年分科会 提案発表>

言葉への関心を高め、自分の思いや考えが表現できる国語科学習をめざして  
～自分の考えを形成し、共有する活動を通して～

松茂町立長原小学校教諭 森 俊文

### 1 はじめに

本学級の三名の児童は明るく読書が好きで、学習においてもいろいろなことに興味をもち、意欲的に取り組もうとする姿が見られる。しかし、学校生活全般を見てみると、自己表現がうまくできない児童や、受け身の姿勢で授業に臨む児童もいる。進んで考えを発表したり、自信をもって人前で意見や感想を言ったりして、自己表現できるようになることが課題である。

そこで、「スイミー」を用いた学習では、物語を読んで紹介文を書き、学級や全校児童の前で発表することにした。発表に向けて、場面ごとの感想やあらすじをワークシートにまとめ、伝え合う学習を設定し、自分の考えを形成・共有することで、自分の思いや考えが表現できるのではないかと考え、本実践研究に取り組んだ。

### 2 研究の方向

- (1) 目的意識・相手意識をもち、自分の思いや考えを発表する場の工夫
- (2) 自分の思いや考えを表現できるようにするための工夫
- (3) 言葉への関心を高めるための活動

### 3 研究の実際

- (1) 「お話を読んで紹介しよう」(「スイミー」光村図書 2年)の実践
  - ① 考えを形成するための工夫
    - ・児童の主体的な学習活動
    - ・ワークシートの工夫
  - ② 考えを共有する工夫
    - ・学習の手引きの作成
    - ・伝え合う学習の設定
- (2) 言語能力を育成するための実践
  - ① 「音読スキル」の活用
  - ② 読書活動の充実
  - ③ ホワイトボードやICTの活用

### 4 おわりに

児童が進んで発表したり、自信をもって人前で意見や感想を言ったりして、自己表現できるようになってほしいという願いから、単元を構想した。ワークシートを使って自分が伝えたいことを明確にしたり、クラスや全校児童の前で発表する場の設定をしたりすることにより自分の思いや考えを表現することができた。

しかし、自分の思いや考えを表現するための児童の語彙数や語彙力について課題が見られる。

今後も、国語科を含めたすべての教科において自分の思いや考えを表現するための一つ一つの言葉を大切にしたい。言語能力の育成や自分の思いや考えを伝える場の設定をし、指導の工夫を図りたい。